

# 1958年 大会記録

※注釈なしはフリースタイル

## 国際

### ◇全米選手権（4月2～5日、サンフランシスコ）

《フリースタイル》▼フライ級 笹渕五夫（日体大）、鳥倉鶴久（専大）＝優勝、▼バンタム級 池田昇（中大）＝優勝、松村昌典（日体大）、▼フェザー級 山田繁（早大）、▼ライト級 高田栄三（日体大）、清水弘志（関学大）、▼ウェルター級 石倉俊太（明大）、沼田実（日大）、乾哲夫（関大）、▼ミドル級 鈴木啓三（専大）、▼ライトヘビー級 川野俊一（法大）、木沢茂充（立大）

《グレコローマン》▼フライ級 笹渕五夫（日体大）＝2位、鳥倉鶴久（専大）、▼バンタム級 池田昇（中大）＝優勝、松村昌典（日体大）、▼フェザー級 山田繁（早大）＝3位、▼ライト級 高田栄三（日体大）、清水弘志（関学大）＝3位、▼ウェルター級 石倉俊太（明大）、沼田実（日大）＝3位、乾哲夫（関大）、▼ミドル級 鈴木啓三（専大）、▼ライトヘビー級 川野俊一（法大）、木沢茂充（立大）

### ◇アジア大会（5月25～27日、東京・後樂園アイスパレス）

▼フライ級 吉田亮治（中大OB）＝優勝、▼バンタム級 飯塚實（明大OB）＝優勝、▼フェザー級 中川清（中大OB）＝優勝、▼ライト級 阿部一男（明大OB）＝2位、▼ウェルター級 兼子隆（中大）＝優勝、▼ミドル級 永井隆（中大）＝優勝、▼ライトヘビー級 高木春雄（明大）＝2位、▼ヘビー級 大平光洋（早大OB）＝3位

### ◇ワールドカップ（6月20～24日、ブルガリア・ソフィア）

▼フライ級 平田孝（法大OB）、▼バンタム級 原田紀之（専大）、▼フェザー級 笹渕五夫（日体大）、▼ウェルター級 武田幸彦（中大）、▼ミドル級 鈴木啓三（専大）、▼ライトヘビー級 永井隆（中大）

## 国内

### ◇アジア大会最終予選（4月25～26日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 吉田亮治（中大OB）、▼バンタム級 飯塚實（明大OB）、▼フェザー級 中川清（中大OB）、▼ライト級 阿部一男（明大OB）、▼ウェルター級 武

田(中大)、▼ミドル級 永井隆(中大)、▼ライトヘビー級&ヘビー級 高木春雄(明大)

**◇関東学生春季新人戦(4月29～30日、東京・青山レスリング会館)**

《優勝者》▼フライ級 今泉雄策(中大)、▼バンタム級 大谷俊春(日大)、▼フェザー級 高橋忠成(日大)、▼ライト級 川口敬三(中大)、▼ウェルター級 三田守(中大)、▼ミドル級 青海上(明大)

**◇全国高校選抜大会(5月3日、新潟・新潟明訓高)**

《学校対抗戦》[1] 新潟・新潟商(3年ぶり2度目)、[2] 新潟・新潟明訓、[3] 宮城・仙台育英、新潟・北越商

**◇関西学生春季リーグ戦(5月4～5日、兵庫・神戸YMCA)**

《順位》[1] 関学大(2季ぶり13度目)、[2] 関大、[3] 近大、[4] 同志社大

**◇関東学生リーグ戦(6月7日～7月6日、東京・青山レスリング会館)**

《順位》[1] 明大(2年ぶり13度目)、[2] 中大、[3] 日大、[4] 慶大、[5] 専大、[6] 早大、[7] 立大

**◇全日本社会人選手権(7月26～27日、東京・青山レスリング会館)**

《実業団対抗戦》[1] 帝国石油秋田、[2] 昭和生命A、[3] 日本カーバイド

《優勝者》▼フライ級 二田賢一(小玉合名)、▼バンタム級 門間金初(帝石秋田)、▼フェザー級 伊藤幸雄(帝石秋田)、▼ライト級 鈴木徹(日本金属工業)、▼ウェルター級 笹原正三(中大OB)、▼ミドル級 北岡太二(芝浦精唐)

**◇インターハイ(8月15～17日、東京・東京都体育館)**

《学校対抗戦》[1] 東京・東京実(初優勝)、[2] 神奈川・慶応、[3] 新潟・新潟明訓、宮城・仙台育英

《個人戦優勝者》▼52kg級 梅沢壤(神奈川・慶応)、▼55kg級 古川鉄男(新潟・新潟明訓)、▼58kg級 利光紀(東京・東京実)、▼61kg級 金子秀雄(千葉・佐倉一)、▼65kg級 本間洋(新潟・新潟明訓)、▼69kg級 中野金光(神奈川・法政二)、▼69kg以上級 金海正直(愛知・名商大付)

**◇全日本学生選手権(9月12～14日、東京・青山レスリング会館)**

《優勝者》▼フライ級 中西一郎(慶大)、▼バンタム級 浅井正(中大)、▼フェザー

級 島村保行（慶大）、▼ライト級 菅野況（慶大）、▼ウエルター級 武田幸彦（中大）、▼ミドル級 北村光治（中大）、▼ライトヘビー級 高木春雄（明大）

◇東日本学生王座決定戦（10月10～13日、東京・青山レスリング会館）＝決勝

中大○〔5－3〕●明大

※中大は2年連続5度目の優勝

◇国民体育大会（10月19～23日、富山・滑川高）

《一般優勝者》▼フライ級 平田孝（神奈川）、▼バンタム級 沼尻武（茨城）、▼フェザー級 飯塚実（新潟）、▼ライト級 本橋元一（埼玉）、▼ウエルター級 笠原茂（新潟）、▼ミドル級 小倉国男（岐阜）、▼ライトヘビー級 黒田汎（富山）、▼ヘビー級 重岡完治（山口）

《高校優勝者》▼52kg級 梅沢壤（神奈川）、▼55kg級 古川鉄男（新潟）、▼58kg級 堀口博資（神奈川）、▼61kg級 小畑武仁（東京）、▼65kg級 阿久津英紀（宮城）、▼69kg級 中野金光（神奈川）、▼73kg級 堀内将行（東京）

◇関西学生秋季リーグ戦（10月29～31日、大阪・阿倍野体育館）

《順位》〔1〕関学大（2季連続14度目）、〔2〕関大、〔3〕同志社大、〔4〕近大

◇全日本選手権（11月14～17日、東京・神田YMCA体育館）

《フリースタイル優勝者》▼フライ級 平田孝（法大OB）、▼バンタム級 浅井正（中大）、▼フェザー級 味方正宏（明大OB）、▼ライト級 阿部一男（明大OB）、▼ウエルター級 武田幸彦（中大OB）、▼ミドル級 青海上（明大）、▼ライトヘビー級 川野俊一（法大）、▼ヘビー級 重岡完治（法大OB）

《グレコローマン優勝者》▼フライ級 平田孝（法大OB）、▼バンタム級 吉田有明（中大）、▼フェザー級 植木宏（関学大OB）、▼ライト級 稲葉哲也（中大）、▼ウエルター級 武田幸彦（中大）、▼ミドル級 石倉俊太（明大）、▼ライトヘビー級 高木春雄（明大）、▼ヘビー級＝出場なし

◇全日本学生王座決定戦（11月19日、神戸YMCA）

中大○〔6－4〕●関学大

※中大は2年連続5度目の優勝

◇関東学生秋季新人戦（11月22～23日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 松原正之（日大）、▼バンタム級 榊原英介（日大）、▼フェザー級 石沢二郎（明大）、▼ライト級 坂本博（中大）、▼ウェルター級 星名明（明大）、▼ミドル級 三田守（中大）、▼ライトヘビー級 青海上（明大）